



阿部 昇さん (84)
陽子さん (82)
津山町・横山9区
1958(昭和33)年11月入籍

二人で一人、いたわり合って

★二人のなれ初めは
【昇】お見合いだったね。仲人さんに紹介されて、姉と一緒に会いに行ったね。
★お互いの第一印象は
【昇】おとなしそうでいい子だなと思ったよ。
【陽子】あっさりした感じの人だったね。やさしそうで前向きな人だなと思ったよ。
★結婚当時の思い出は
【昇】登米町の映画館によく映画を見に行ったね。仙台七夕にも行ったな。映画は好きで、今でも二人で行くよ。
【陽子】初めて養蚕をしたね。竹で編んだかごで飼育していた、繭になるまでが大変。
★お互いの性格は
【昇】頑張り屋だね。
【陽子】とにかく真面目で、毎日盆栽の手入れや畑仕事をしるね。
★夫婦円満のポイントは
【昇】ぶつからないで、ハイハイって聞くことかな(笑)。
【陽子】二人で一人だから、お互いのいたわりが大事だね。
★これからしたいことは
【陽子】グラウンドゴルフやパークゴルフして、毎日二人で忙しく過ごしている。これからは元気で続けたいね。
【昇】振り返るとあつという間、趣味も仕事も一生懸命やって、人生楽しまないと。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「故郷への思い」

私は1961(昭和36)年、15歳で上京しました。それだけに中学校の思い出はひとしおです。登米中学校は、私の人生のスプリングボードでした。熱心な担任の先生に恵まれて、温かく見守り励ましていただいたことを、最近しみじみ思い返すことがあります。担任は、1年次が数学の太田先生(あだ名はシスターボーイ)、2年次が英語の荒井先生(キューピーさん)、3年次が国語の阿部先生でした。阿部先生は私が東京の高校への進学に迷っている時、ぐつと背中を押してくれました。道歌に「年を経て 浮き世の橋を 見返れば さても危うく 渡りつるかな」とあります。誰にとっても人生は平

大槻 紀夫さん(74)

東京登米会会長補佐
登米町(下町)出身



たんというわけにはいきません。阿部先生から卒業時、「真摯」という言葉を送別の辞としていただきました。「危ういとき」には、この「真摯」という護符に何度か助けてもらったものです。中学校の先生方は忘れえない恩師です。登米中学校は、当時、英語教育に力を入れており、そのせいか英語が好きになりました。大学を卒業し、帝人に入社。英語に無縁な人事の仕事長く担当していたのですが、50歳を過ぎてから、ヨーロッパ総支配人としてオランダで仕事をやる機会に恵まれました。登米中学校の英語教育があったればこそと感謝しています。この頃、ふと学校で習った唱歌のメロディーが浮かぶことがあります。「葉の花畑に入日薄れ：」「木枯らしとだえてさゆる空より：」など、しみじみと叙情あふれる歌詞のおかげで、田舎の懐かしい情景が脳裏によみがえってきます。年を取るにつれ折に触れ幼少の頃を思い起こすことが多くなりましたが、登米で過ごした15年間で幸せな人生の「コマだったからだ」と思います。豊かな自然、良い恩師、温かい人たち。いい故郷を持ったことに感謝しています。

おらほの産直

産地直売所
「いしこし大好き」



お客さんとの触れ合いが楽しいと話すスタッフの皆さん。作っている人の顔が見える地域に根差したお店です。

今月は、産地直売所「いしこし大好き」の佐藤律子店主にお話を伺いました。
Q「いしこし大好き」はどのようなお店ですか
石越町に産地直売所がなかったことから、2001年4月にオープンしました。石越町の野菜や山菜、手作りの総菜などを販売しています。お店は販売するだけではなく、地域の皆さんの集いの場にするのも目的の一つ。アットホームな雰囲気の内にはお客さんや会員の触れ合いの場になっています。
Q人気商品やおすすめ商品な



旬の食材の手作り弁当はお店の人気商品。1個500円

どを教えてください
朝採りの新鮮な野菜、山菜がおすすめ。今の時期は、タケノコやキュウリ、トマトです。お客さんの献立を聞いて、食材選びやレシピのアドバイスもしています。
また、地元産の新鮮な食材を使用した、出来たての総菜や弁当なども販売しています。



色鮮やかな季節の花が店内を華やかに彩ります

す。みそと小麦粉などをかき混ぜて揚げた、ピリ辛の「みそやき」はオープン当時から人気の一品です。店内には飲食スペースもあるので、お茶を飲みながら、ゆっくりくつろぎに来てください。
【問い合わせ】産地直売所「いしこし大好き」
0228(34)3623

俳句・川柳
まちの文芸

作品募集!
●8月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、6月30日(火)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句
蝌蚪の群れ子も群れ遊ぶ田んぼ道
遠足のわくわくも詰めリュックかな
休校の続く校庭花は葉に
小流れを狭めて岸の花は葉に
葉桜や私荷の丘の芭蕉句碑
どくだみの群る裏径お社へ
藤の花朝日を受けて輝けり

- 小野寺智子 (迫)
菅原れい子 (迫)
及川 豊子 (東和)
首藤 恭子 (東和)
菅原いよ子 (東和)
須藤 捷子 (東和)
千葉 勝保 (東和)

灯明のかすかに揺れて春の月
春月やゴッホの夜のカフェテラス
通夜退くや天心近き春の月
地震去り心へのこる春の月
古捨母のかたみのしみひとつ
麦秋や手繰りよせたき峡一景
北上川の風を孕みてこいのぼり
轉りに歩調ゆだねる万歩計

- 小野寺タヘ子 (中田)
佐藤 昭 (中田)
高橋 武比古 (中田)
山内 成子 (中田)
大友 ふき江 (津山)
西條 榮孝 (津山)
佐藤 喜美子 (津山)
佐藤 喜美子 (津山)

応募総数36作品